

くらき永田保育園便り



玄関ホールで育てていた蚕が先週から段ボールの格子の部屋に入った後、その中で繭糸を吐き、繭を作り出しました。5月末から毎日のように箱を覗き込み、桑の葉をむしゃむしゃ食べる様子をジーっと観察していた子どもたちにとってこの一ヶ月はどのような時間だったのでしょうか。「かいはね、ひとりひとり顔が違うんだよ！」と僕に教えてくれた年長さんは箱から飛び出した蚕を手のにのせ「ぼくのこと好きみたい」と話してくれました。カメもあーちゃん、ビオトープの生き物たち、そして園庭のダンゴムシ等々が子どもたちの生活を豊かにしてくれています。また、コロナで控え気味にしていた食育活動も今年度はいろいろ楽しんでいます。来週は自分たちで収穫した梅を使っての梅ジュース屋さんを行います。全体懇談会でもお話しした「自分たちが行動することで社会に影響を与えられる経験」は他者の力が必要です。行列ができるかもしれませんが屋台での子どもたちの姿をお楽しみください。この夏は衛生面などに十分に配慮しながら子ども時代の体験を保障していきたいと思います。

五行思想の「木・火・土・金・水」で分類できる地球上の物質は、ひとの暮らしと密接に関係しているので保育の場面でも このことを意識して整えていきたいと思っはいますが、どうしても「火」については、日常生活に取り入れることは難しさも感じています。先日参加していたアウトドアイベントで子どもと「火」という素材との関係性について考える機会を得ました。

マッチを擦って焚火に火をつけるワークの際に子どもにチャレンジさせるスタッフとそうでないスタッフがいました。イベント終了後、振り返りをした際に参加していた5歳児の男の子がこんなことを言っていました。「マッチを使うことをオクケーしてくれた先生は自分を信じてくれている。そして、オクケーしない先生は、子どもを心配してくれているからだ！」と発言していました。大人の異なる対応ですが、そのやり取りの中で「自分をどのように受け止めてくれているのか」はちゃんと伝わるのだと感心してしまいました。子育てや保育という営みは「関係性」の中で起こります。子どもへの働きかけに大人のどのような「想い」が隠れているのかが大切なのだと改めて考えさせられました。昨年度から職員研修として力を入れているリフレクションの意義も再確認する出来事でした。。

保育園からのお願い・お知らせ

7月8月は職員の研修や夏季休暇なども入ってきます。クラスの子どもの登園状況に応じてシフトを組み立てますので保育時間表に記入できなかった職場の休暇予定やまだ確定していなかった家族で過ごす日程など決まり早めに担任までお知らせください。食材の発注などにも影響が出ますのでよろしくお願いします。

どんなお願い事をしましたか？

港南区のカフェこやぎさんの里山から切り出した竹が玄関前に二本。今週から玄関前には七夕の短冊が飾られました。何気ないお願い事でも そこには親の願いや子ども達の真剣な夢が書かれているようです。ひとりひとりの子どもの表情を思い浮かべながら読んでみると“その子らしさ”が出ていて面白いですよ。玄関前の短冊に注目です。

各クラスの『科学するココロ』をお伝えします！



にこにこ

にこにこ組では、入園直後から今現在まで子どもたちがモビールやカラーホイールなど動く玩具に興味を示す姿が多く見られています。その中で、授乳中に風が室内に吹き込んでくるとカーテンが揺れるのを不思議そうに目を大きく開いて見ていました。カーテンなどの柔らかい生地では、大きく膨らんだり小さくなったりという不規則な動きに夢中になっているのかなと感じました。そういった姿から、ウッドデッキには不織布を細く切ったものを飾り、吹き込む風で不織布が揺れる様子を目で追って楽しんだり、お部屋では絵本を切り抜いたイラストをモビールのように吊り下げてみたりと、風を身近に感じられる仕掛けづくりを行っています。

今後も子ども達が風と物と仲良くなれるような遊びを考えていきます。お家でも風を使った遊びを教えてください。



よちよち



午睡明けの室内。カーテンを開けると太陽の光が差し込み、眩しそうに目をつぶる子ども達、中には眩しいのになぜか見てしまう子ども、光を楽しむ様子を何度も見てきました。そこから保育士が意図的に手で影を作ってみました。その影の動きに興味を示す子が増えてきました。一人の子がロンディーという玩具を手にとり光に向けて見ると、偶然に床に光の穴が開きました。それをきっかけに遊びが他の子に広がり、自分の手や足を動かしてみても影の変化を感じながら光と対話しているように楽しんでいる姿が見られます。今後は光るパネルや色水のペットボトルを使って光と色のコラボや、日向と日陰を触って温度の違いなどにも興味を示し、たくさんの不思議と出会えるようにしていきたいと思います。ぜひ、ご家庭でも太陽の光と遊んでみて下さい。





すくすく



生き物探しに熱中している子どもたちは、人工芝の裏や乳児の森でじっと目を凝らしています。

先日、乳児の森で捕まえたヤモリをお部屋で観察してみました。自分とヤモリの手を見比べて「おんなじ！」と見せてくれたり、「すごい、上までのぼってる！」と虫かごの側面を歩くことを教えてくれたりしていました。図鑑を用意してみると「おてもおなじ!」、「ては4こあるよ!」とヤモリと図鑑を見比べて興奮気味に観察する姿もありました! 戸外でのダンゴムシ探しでは、ワラジムシを見つけて「ダンゴムシじゃない」といった声が聞こえてきています。ダンゴムシとワラジムシを一括りで捕まえていた子が、丸くなる特徴や見た目の違いで見分け始めているようです。

これからも様々な生き物に出会う中でそれぞれの特徴や違いなどを一緒に発見し、興味を更に深めていきたいと思えます!



のびのび

雨が降った次の日の園庭での出来事です。Kくんが「足がふにやふにやする」と言いだったので足元に目を向けると、地面がぬかるんでいました。「何でだと思う?」と尋ねると「水たまり」と言うKくん。保育士が「雨が降ったから?」と言葉を言い換えると「そう!」と言っていました。次に保育士がぬかるんでいない所を指しながら「こっちの地面はどうか?」と尋ねると「固い!」。これがきっかけとなり、様々な所を歩いて地面の感触を楽しむ遊びが始まりました。次の日になるとぬかるんでいた所が固くなっていることに気付いたYちゃん。保育士が「何で固くなったと思う?」と尋ねると「お日様がたくさん元気になったから」と言っていました。地面の固さに注目をしたこともそうですが、保育士の「何でだと思う?」という一言に対して自分たちなりにいろいろなことを考えて言葉にしている姿に率直にすごい、おもしろいと感じた出来事でした!





わくわく



園庭に出るとうずくまって枯葉をひっくり返したくさんのダンゴムシを発見！持ってきたかごの中にダンゴムシだけをどんどん入れていき「見て！こんなにたくさん！」と教えてくれました。翌日、中を覗くと「あれ？動かない？」と子どもたちに疑問が浮かびました。そこでお部屋にあるダンゴムシの本を見て見ると「土が必要かも！」「枯れた葉っぱがいるね」とカゴの中の違いに気がついたようです。そこから読み進めていくと「お腹にある黄色いのが卵なんだって」と違う視点でも見始めていました。

そこからもダンゴムシ探しは続き、迷路で動き方を観察していることもありました。また、お友だちが触っている様子を見て触り始める子もいます。そんな中ダンゴムシをひっくり返して見ている姿があり、違つくと「見て！卵！」とお腹の中に卵を見つけていました。その一言から卵を探すブームが到来！次々に見つけていく中「これ赤ちゃん！」と今度は生まれた赤ちゃんを発見！「たくさんいる！」「小さいね！」「色が白いよ！」とたくさんの気付きがありました。

「寒かった時にはいなかったのにね」「今、赤ちゃんが生まれるんだね」と季節によるダンゴムシの生態にも気がつき始めた子ども達。これからの季節はどう過ごしていくのかを研究し続けます。





いきいき

いきいき組はわくわく組の時から1年以上も継続している遊びがあります。それは『坂道遊び』！子どもたちは、転がす台や転がす物など素材を自由自在に変化させ、遊びの中から多くのことを発見し学んでいます。今回は気づきから遊びが発展している物を紹介します。1つ目は平均台の溝を使っての『ドングリ転がし』、ドングリの大きさ、形によって転がる速さが違うことに気づき遊んでいました。ある日、台に砂を盛っているのを見て、大人は「ドングリが止まっちゃう！」と思いましたが、子どもたちは砂を盛ることでドングリがジャンプすることを発見し、転がすだけでなくジャンプした距離を競う遊びに変化しました。更に、遊びがバージョンアップして転がすコースに障害物が加わりました。障害物（ビールケース）を使いドングリが物にあたることで転がり方、落ち方が変化することに気づき、落ちた場所で点数を決めるゲームに発展！また障害物に的をセットしてひたすら転がし、的に入れて楽しむ姿もありました。遊びはまだまだ続いて次第にダイナミックになり、園庭の様々な素材を使ってコースを作るようになりました。斜面の角度によって、転がる速さが加速する！転がす物も、ドングリからボールに変化して『転がしオリンピック』遊びが始まりました。雨どいはすぐにずれてしまうのでコースの角度微調整も必要です。現在は、メジャーを使って測ることが遊びのゲームになっているので、転がった距離を測って遊んでいます。様々な素材を使い、自ら遊びを作り出す子どもたちは遊びの天才です。今後は、水遊びも始まるので、転がすから水の流れの変化を遊びにして続いていくと思われれます。



給食室

毎月、「物語メニュー」と称して、給食やおやつに、絵本に因んだメニューを出しています。ここ数年は、4月は〇〇、5月は□□、と毎年同じメニューで固定にしていたのですが、今年度、物語メニューをリニューアルしました！！

4月には「はらぺこあおむし」からカップケーキ、5月には「スープになりました」からほうれんそうのポタージュ、6月には「ぐるんぱのようちえん」からビスケットを出しました。

子どもたちの嬉しそうな表情や、楽しんでくれている姿に、私たちもいつもやる気をもっています！

毎回、ブログにもアップしているので、ぜひ見てみてくださいね！

今月も新作メニューとなっています！

今回も、子どもたちがおいしく食べてくれるメニューと楽しんでくれる仕掛けをしたいと思います！

お楽しみに♪



木育係より



今月の職員会議の中で、『ふしぎ発見アワード』と題して、各クラスの子ども達の科学するココロについて発表し合う、年に一度の機会がありました。写真と共に担任から語られる言葉から、子どもたちの行動や言葉、視線などから何を感じ、受け取ったのか、そして一緒に感動し、楽しみながら次の活動に展開していく様子が伝わりました。担任の取り組みをこのような形で、全職員で、笑ったり驚いたりしながら共有できることは、とても幸せです。今月のお便りでは、各クラスから、その一部を紹介していますので、ご覧ください！木育係では、今後も、子ども達の『ふしぎ発見』を、主にテラスや園庭の環境を構成し、見守りながら、保護者の皆さんに伝えていく予定です。楽しみにしてください。

さて、くらき永田保育園に来てくれた蚕の卵たちは、5月23日に生まれ、脱皮を繰り返して繭を作っています。桑野は厚めにご協力ありがとうございました。解雇に出会う子どもたちの反応は様々で、その様子は毎日見たり関わったりしているうちに変わっていきます。送迎の際には、ぜひ、そのような子ども達と一緒に蚕の成長を見守ってくださいね。



今月の行事

- | | |
|--------|------------|
| 2日(火) | 梅ジュース屋さん |
| 13日(土) | 布団乾燥 |
| 15日(月) | 海の日 |
| 18日(木) | 久保先生のわらべうた |
| 19日(金) | いきいき組 お泊り会 |
| 20日(土) | いきいき組 お泊り会 |